

IMAGINE
THE
FUTURE.

AC入試・特別入試

GUIDE BOOK

AC入試

p.01

国際科学オリンピック
特別入試

p.04

国際バカロレア
特別入試

p.05



筑波大学
University of Tsukuba

AC入試

- ☑ 自己推薦型(書類+面接)の入試です。
- ☑ 自分で課題を見つけ、解決する能力を評価します。
- ☑ 現役生、過年度生、社会人。大学入学資格を持つ方を広く対象としています。

◎アドミッション・ポリシー

志願者の主体的で継続的な取り組み(最近2年間、又はそれ以上の長期間にわたるもの)から「問題解決能力」を評価します。この入試の合格者にふさわしい志願者がいないと判断した場合は、募集人員どおりに合格者を決定することにはせず、個別学力検査等(前期日程)の募集人員によって、その人員を充足します。以下の各学類・専門学群のアドミッション・ポリシーと併せて評価します(最新のアドミッション・ポリシーは学生募集要項で確認してください)。

◎自己推薦資料テーマ例

近年のAC入試で合格した先輩たちの自己推薦資料テーマです。AC入試は今まで行ってきた活動や研究に基づく自己推薦内容を評価する入試です。これらの例にとらわれず、思い切ってチャレンジしてみましょう。

第1次選考(書類審査)

次の書類を審査し、第1次選考合格者を決定します。

- 調査書
- 志願理由書:志願の理由を800字以内で所定の用紙に記述してください。
- 自己推薦書:あなたがこれまで主体的に、そして継続的に取り組んできた活動や研究の内容をもとに、自分の「問題発見・解決能力」を提示してください。また、大学でどのように学びたいのかを具体的に記述してください。分量・様式は自由です。
- 自己推薦書の根拠となる資料:これまでの活動や研究の過程で生まれたレポートや作品、制作物、賞状や証明書、活動の過程を記録したノートなどのコピーや写真を、自己推薦書本文の内容を補完する資料として添付することができます。

第2次選考(面接・口述試験)

30分程度の個別面接を実施します(必要に応じて延長される場合があります)。あなたが「自己推薦書」などで示したことを、あなた自身の言葉でさらに詳しく説明してください。また、大学で学びたいことについて、これまでの学習状況などについてもアピールしてください。

実施学群・学類		アドミッション・ポリシー	募集人員	自己推薦資料テーマ例
人文・文化学群	人文学類	人文系の学問に関わる専門的知識を主体的に吸収し、自己の判断力を磨いていく能力と創造的な問題解決能力を有する人材を選抜します。	5	<ul style="list-style-type: none"> ■ ルイ17世の謎の最期 ■ 17・18世紀のロンドンにおけるコーヒーハウスの歴史的役割に関する考察 ■ 考古学研究とその視点 ―下野型古墳の形態― ■ 戦時下の弾除け信仰の隆盛と衰退
	比較文化学類	文化・社会に強い関心と知識を持ち、特定の専門分野について具体的に個性的なテーマを設定し、そのアプローチと内容に関して独自の研究成果を挙げている者を選抜します。	5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本人だから、私だからできること ―アジアを対象とした文化研究、宗教研究のために― ■ 多様な人々と共生できる人材を育成するために ―国際協力NGOとディベート部での活動を通じて― ■ 漫画出版市場の衰退と漫画実写映画 ―漫画実写映画批判の原因をアメコミ実写映画との比較で考える― ■ 表現手段としての俳句からの発想
	日本語・日本文化学類	日本語や日本文化、国際交流や異文化理解について独自の視点を持ち、自ら問題を見出し、解決する能力を重視して選抜します。	3	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本語表現の探求 ―「私の主食は日本語である」― ■ 普通体を教える新しい日本語教師を目指して ■ 異文化交流は受信と発信から ―フィンランド留学から― ■ 日本人女性の名前の変遷
生命環境学群	生物学類	生物世界や生き物の仕組みに対する強い興味を持ち、自ら設定したテーマに関してユニークな研究をし、その結果を分析して、独善的な考えに陥ることなく、科学的及び論理的にレポートにまとめ、それを具体的に発表する能力を評価します。	3	<ul style="list-style-type: none"> ■ ミカヅキモの単離と分類 ■ キイロショウジョウバエの蛹形成における位置決定要因 ■ 変形菌モジホコリの阻止円形成要因とその意義 ■ オカダンゴムシの交替性転向反応
	生物資源学類	生物資源及び関連事項に対して強い興味と問題意識を持ち、自ら問題を発見し解決に取り組む能力と、それを他人に伝え論理的に説明する能力、そして基礎学力と語学力、学習意欲を持つ人材を選抜します。	4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 捕食性tentウムシ幼虫の餌適正と落下行動 ■ 効率の良いバイオマスエネルギーの発見 ■ ピロールの電解重合 ■ 国内飼料自給率改善とシステムの活用を目指して

実施学群・学類		アドミッション・ポリシー	募集人員	自己推薦資料テーマ例
生命環境学群	地球学類	高等学校において高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化に強い好奇心を持ち、自ら設定したテーマに対して、創造的かつ問題解決志向で取り組む能力を持ち、それを表現する能力のある人材を選抜します。	2	<ul style="list-style-type: none"> ■ 筑波山塊の花崗岩の分類と含有するレアアースの関係について ■ 気象モデルのシミュレーション ■ 水質汚染による環境破壊の課題と展望 ■ 自作装置による津波の発生・伝搬の研究
	数学類	数学に対する強い好奇心を持続的に有していることを重視するとともに、独自に課題を設定し解決する能力および基礎学力を総合的に評価します。	2	<ul style="list-style-type: none"> ■ 整数論入門教科書の作成 ■ 整数環のidealにおける剰余類環を用いたオイラーの定理の精緻化 ■ ガウス整数上における二平方和の定理 ■ 非整数階微積分について
理工学群	物理学類	自然科学に対する持続的な強い関心、独自に問題を発見し解決する高い能力、物理学に関連する基礎学力、そして物理学への学習意欲を総合的に評価します。	2	<ul style="list-style-type: none"> ■ β線の速さの測定、物理チャレンジでの工夫 ■ 炎の電気伝導性 ■ レーザー発振機制作 ■ 彗星、超新星の観測
	化学類	化学及び関連事項に対する強い関心を持ち、独自に問題を発見し、明確な目標のもと主体的に学習し、問題解決する高い能力を総合的に評価します。	2	<ul style="list-style-type: none"> ■ 化学発光の研究 ■ 腐敗・発酵を利用した発電の研究 ■ 有機化合物の合成 ■ BZ反応の停止に関する研究
	工学システム学類	本人からアピールされた、今までの経験、あるいは、ものに継続的に取り組む態度、論理的な文章を作成する能力、数学的思考能力、コミュニケーション能力に基づいて、技術者になるという明確な目的意識、並びに、興味の広さと深さ、積極性、行動力、表現力を評価します。	8	<ul style="list-style-type: none"> ■ 義足と障害者スポーツ ■ 水噴流による水輸送倍増効果 ■ Webコンテストへの4年間の取り組み ■ ロボットなどものづくりの取り組み
	社会工学類	数学と外国語の基礎学力を有し、社会システムについての問題を発見・解決するまでの一連の活動を意欲的かつ主体的に行うことのできる明確な目的意識と勉学意欲を持つ人材を選抜します。	5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 茨城の観光についての分析と考察 —観光甲子園における提案の実現に向けて— ■ 消滅可能性都市の再生 —歴史さかのぼり観光・教育ルートの提案— ■ 地方都市におけるまちづくりに関する地理学的研究 ■ 津波被害と減災に関する多角的調査研究
情報学群	情報科学類	情報科学や情報技術、または関連する分野に強い関心を持ち、自ら研究課題と明確な目標を設定して問題の分析や解決を創造的に図る意欲と能力を有し、その過程と結果を論理的に説明することのできる人材を選抜します。	8	<ul style="list-style-type: none"> ■ SuperCon、情報オリンピック、パソコン甲子園での取り組み ■ セキュリティキャンプでの取り組みなど ■ 知能ロボットコンテストなど ■ ソフトウェア作成（プログラミングコンテストなど）
	情報メディア創成学類	コンテンツやネットワークメディアを支える情報メディアの科学と技術において、研究課題を自ら設定する創造性と意欲、課題を緻密に分析し創造的に解決する問題解決能力、その過程および結論を論理的に説明できる能力を総合的に評価します。	4	<ul style="list-style-type: none"> ■ ものづくりという表現方法 —楽器自動演奏ロボット・ダンスロボット・LED スーツ— ■ PHPとMySQLを用いたSNSの制作 ■ 正確な情報伝達のためのWebサイトの作成／アクセス履歴の研究など ■ ARを使用したデバイスレス操作の研究
	知識情報・図書館学類	社会における情報の伝達や知識の創造に関して幅広く興味を持ち、関連した課題を自ら発見し、分析・解決していく能力を評価します。課題の分析結果を論理的に説明することや、説得力のある提案ができることも評価します。	5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 放送部での活動を通して —「情報と私」— ■ レコメンドシステムの実現を目指して ■ 利用しやすい図書館とは ■ 演劇と文芸 —需要を開拓するシステム— ■ 公共図書館の音環境に関する意識調査
体育専門学群		<p>(1) 従来型:ひとつの運動種目における優れた技能を重視し、自主的な実践活動における科学的知識の活用と論理的思考能力を多面的に評価します。</p> <p>(2) 競技力重視型:抜群の運動技能を有し、日本代表として権威ある国際大会で活躍できる競技力を重点的に評価します。また、基礎学力と表現力についても総合的に評価します。</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> ■ 陸上800mレース後半におけるスピード、ピッチおよびストライドについて ■ バトミントンにおける総合力向上プログラムの一試論 ■ スピード強化の取組み（7人制ラグビー） ■ 体格の特徴を生かす（女子サッカー） ■ データ分析に基づいたブロック力の差（バレーボール） ■ オリエンテーリングのためのトレーニング
芸術専門学群		問題発見・解決能力、行動力などの一般的能力に加え、芸術の専門領域に関する意欲、資質を評価します。	5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「いにしへ」に思いを寄せて（洋画） ■ ものづくりと問題解決 ■ 自らの書風を求めて ■ 制作と対話 —独自の技法と表現について（日本画）— ■ 呉昌碩臨石鼓文に関する考察

社会で活躍する卒業生

野球コーチングを通して、人づくりや組織づくりに貢献したい



奈良隆章さん

筑波大学体育系 助教
筑波大学 体育専門学群 卒業
筑波大学大学院 人間総合科学研究科 体育学専攻 修了
東京都私立帝京高校出身

本 気でプロ野球選手を目指していました。しかし高校ではなかなかレギュラーメンバーになれず、3年生の夏にベスト4まで勝ち進んだ甲子園でも、主将でありながら、伝令と声出しで終わりました。夢を実現するには、大学で力をつけるしかない、父や高校時代のコーチの出身校である筑波大学を目指すことにしました。しかし、ほとんど野球漬けの毎日でしたから、一般入試によって現役合格することは難しい状況でした。そんな折にAC入試の存在を知ったのです。

公式戦は2年生の秋の大会に出場しただけであり、競技歴を前面に出すわけにはいきませんが、募集要項には、日々の活動と問題解決能力を評価するとあります。そこで思いついたのが、毎日つけていた野球日誌です。とくに2年生の秋に公式戦で惨敗してからは、どうしたらチームを立て直すことができるのか、仲間の意識をどう変えていけばいいのか、日々悩み、解決策を模索しながら、チームを引っ張ってきた詳細な記録が残っています。そこで、こうした日々の活動をベースに自己推薦書を書き上げ、合わせてプロ野球選手になるという夢の実現のために大学でやりたいことをアピールしたのです。

大学でも、主将として10年ぶりに全国大会出場を果たすことができました。卒業後は大学院に進学し、幅広い学びを経験しました。その中で、プロ野球選手になりたいという夢から、野球のコーチングを通して人を育てたいという夢に変わっていきました。野球は日本において人気スポーツの1つですが、学問分野としては成長過程です。そこで、後輩たちを指導しながら、野球を通じた人づくり、組織づくり、リーダーづくりに貢献していきたいと思います。今の私があるのは、本当にAC入試のおかげです。簡単な入試ではありませんが、どうしても筑波大学で学びたいという強い意志と覚悟があれば門戸は開かれます。

甲子園大会では、主将として指示を出し、選手たちを鼓舞した。



日本における藻類研究者の第一人者になることを目指して

高 校で生物部に所属したことが全ての始まりでした。太陽光を浴びると光を反射して黄色に輝くヒカリモという藻類が高校の近くに生息しており、仲間3人とその生態と光反射メカニズムの研究を行いました。その結果を研究論文にまとめたところ、高校2年生のときに「日本学生科学賞」で文部大臣賞を受賞し、翌年にはアメリカで行われた「インテル国際学生科学技術フェア」で発表することになりました。英語でのプレゼンテーションはとても大変でしたが、日本の出場チームの中で唯一入賞を果たすことができました。そして、その活動の内容をもとにAC入試に臨みました。

アメリカでの発表準備に相当の時間を費やすため、一般入試用の受験勉強との両立はかなり難しいものがありました。そこで、思い切ってAC入試一本に絞り、自分の研究活動に力を入れることに。不合格なら、浪人してまた筑波大学を受験すればいいと考えたのです。筑波大学を志望したのは、日本の藻類研究の大家である井上勲先生がいらっしゃったからです。無事合格し、入学式の日に早速先生の研究室を訪ね、大学1年生のうちから研究室に出入りさせていただきながら、結局、博士課程修了まで井上先生にお世話になりました。

現在は、霞ヶ浦でアオコを作る藻類のゲノム解析を始めています。霞ヶ浦の環境に応答するような遺伝子が見つかれば、アオコの発生予測に大きく寄与できる可能性もあります。日本各地の藻類を集めて分類する研究も行っており、新種も数種発見することができました。高校でヒカリモに魅せられて以来、ずっとなりたいたいと願ってきた藻類の研究者になることができ、今とても充実しています。今後は、藻類研究の第一人者を目指して、研究に力を入れていくつもりです。高校から研究活動に取り組み、研究者を志望しているような人にとっては、AC入試は最適な選択肢です。どんな研究であろうとずっと真剣に耳を傾けてくれるはずです。

日本学生科学賞で文部大臣賞を受賞した研究論文を収めたCD-ROM。



山口晴代さん

独立行政法人 国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 研究員
筑波大学 生物学類 卒業
筑波大学大学院 生命環境科学研究科 生物科学専攻 修了
千葉県立安房高校出身

国際科学オリンピック 特別入試



世界の科学技術を リードする人材をめざして

世界中の中等教育課程にある生徒（日本では主に高校生）が参加する、世界的な科学技術コンテストである「国際科学オリンピック」。

国際科学オリンピック特別入試は、同大会に日本代表として選抜された人、代表選考などで一定の成績を収めた人が対象となる入試です。明確な目的を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を、従来の試験とは違う観点から評価します。

◎アドミッション・ポリシー

国際科学オリンピックに出場した者、またはその代表選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価して選抜します。

国際科学オリンピック特別入試の概要

募集学類

- 生物学類 ●地球学類 ●数学類 ●物理学類 ●化学類
- 情報科学類 ●情報メディア創成学類

対象となるオリンピック

- 数学 ●化学 ●生物 ●物理 ●情報 ●地学 ●地理 ●その他*

*情報科学類、情報メディア創成学類には、IPA「未踏IT人材発掘・育成事業」採択者も応募できます。

選抜方法

エントリーシートに基づいて、15分程度の個別面接により行います。
ただし、生物学類のみ書類審査による第1次選考を行います。

■各学類の出願要件は募集要項で確認してください。

- 生物学類は出願要件を次のように変更します。

国際生物学オリンピック日本代表として選抜された者、日本生物学オリンピック本選出場者又は日本生物学オリンピック予選優秀賞受賞者

【過去の実績】

	受験者数	合格者数
2015年	9人	4人
2014年	10人	5人
2013年	16人	7人
2012年	10人	7人
2011年	13人	9人
2010年	8人	6人
2009年	11人	6人



日本文化に触れて交流を深める参加者たち
(2009国際生物学オリンピック/つくば市)

TOPICS

筑波大学には、 入学後も高校時代の 研究を継続できる 環境があります！

先導的研究者体験プログラム[ARE]は、全学群の1～3年生が応募できる研究活動支援プログラムです。研究計画書を提出し、採用されれば、研究費と研究場所が提供されます。スーパーサイエンスハイスクール (SSH) やサイエンスパートナーシッププロジェクト (SPP)、理科や総合的学習における自主的な課題研究など、大学入学前から科学的な研究を行ってきた人はもちろん、大学進学後には研究活動をしたいと考えていた人も応募してください。

【過去3年間の申請および採択件数】

	申請数	採択件数(名)
2014年度	48件	45件(48名)
2013年度	31件	30件(32名)
2012年度	42件	39件(44名)

詳しくはWebをご覧ください。

<http://www.esys.tsukuba.ac.jp/AC/RS>

国際バカロレア 特別入試

全学で
実施

探求心、知識、思いやりに富んだ
若者の育成をめざして

筑波大学では、国際バカロレアにかかる活動を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための新たな入学試験として、全学で国際バカロレア特別入試を実施します。

◎アドミSSION・ポリシー

国際バカロレア資格を取得した者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標をもって学ぶ意欲、また、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜します。

国際バカロレア特別入試の概要

募集学群・学類

すべての学群・学類

出願資格

次の①～③の条件をすべて満たすものとします。

- ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を授与された者もしくは2016年3月31日までに授与される見込みの者で、2016年3月31日までに18歳に達する者

国際バカロレア資格を取得見込みで出願したものが、2016年3月31日までに国際バカロレア資格を取得できなかった場合は、合格取消となります。また、国際バカロレア資格の取得見込みで出願した者で、合計点及び各科目の得点が出願時の見込みの得点よりも下回った場合は、合格を取り消すことがあります。

- ② 日本語を母語とする者又は日本語を履修していること（日本語の履修要件については募集要項を参照のこと）
- ③ 国際バカロレア資格の取得において、本学の指定する次表の科目を履修していること

（注1）英語の未履修者に対しては、TOEFL等英語試験の成績の提出を求める場合があります。

（注2）出願資格の科目等は変更になる場合があります。必ず募集要項で確認してください。

選考方法

■第1次選考

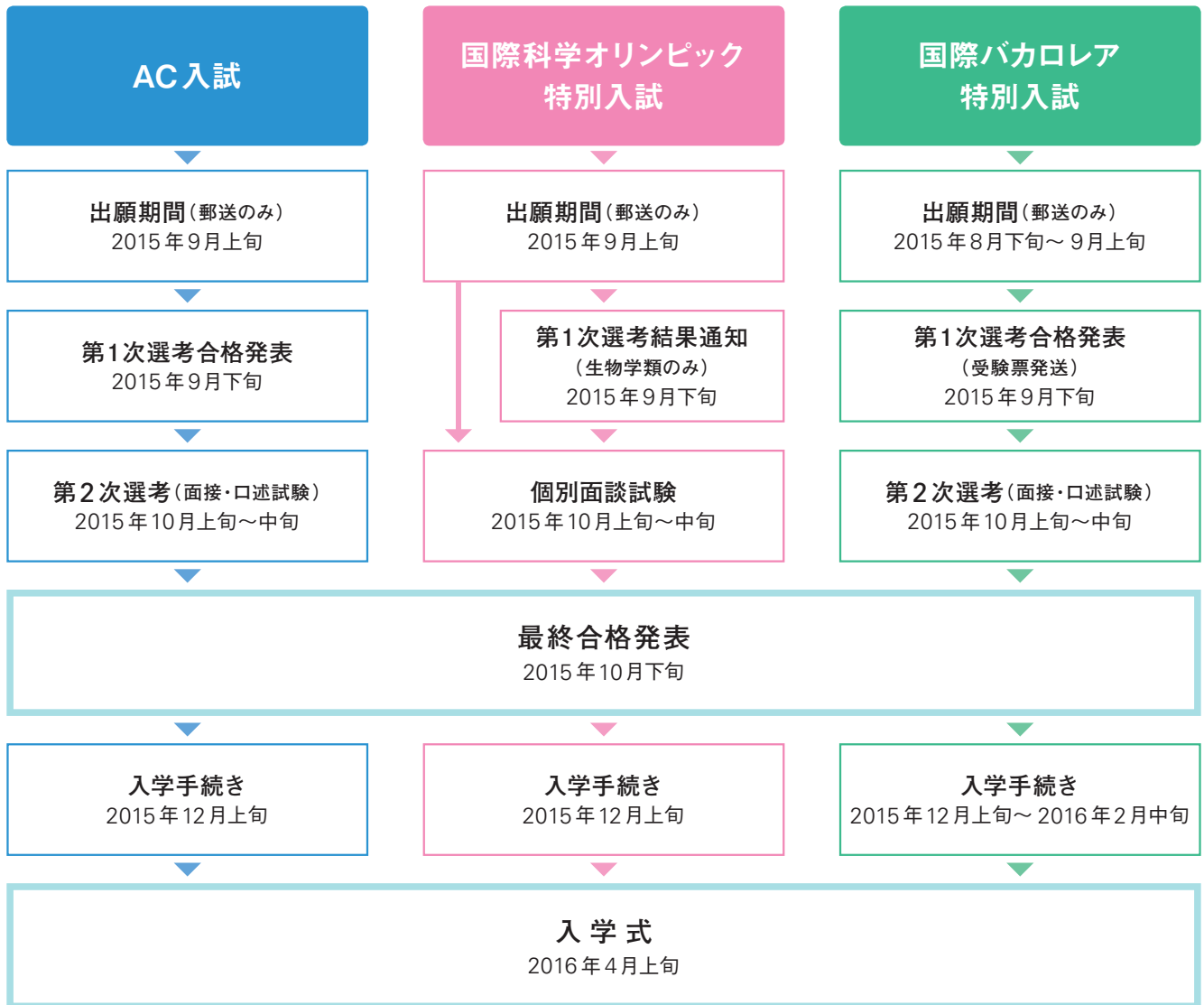
出願時に提出された書類等により、第1次選考合格者を決定します。

■第2次選考

第1次選考の合格者に対し、面接・口述試験を行い、提出書類等の内容を合わせて総合的に判定します。面接・口述試験は、主にEE（課題論文）、TOK（知識の理論）及びCAS（創造性・活動・奉仕）の学習成果、志願する学群・学類に必要な学習適応性（学習能力、知識、意欲等）について、個別に30分程度行います。

学群・学類	科目等
人文・文化学群	人文学類
	歴史(HL)、地理(HL)、哲学(HL) から1科目
	比較文化学類
社会・国際学群	比較文化学類
	歴史(HL)、地理(HL)、哲学(HL) から1科目
	日本語・日本文化学類
社会・国際学群	歴史(HL)、地理(HL)、哲学(HL) から1科目
	社会学類
	歴史(HL)、地理(HL)、経済(HL)、グローバル政治(HL)、数学(HL) から1科目
人間学群	国際総合学類
	歴史(HL)、地理(HL)、経済(HL)、グローバル政治(HL)、ビジネスと経営(HL)、グローバル社会の情報技術(HL)、社会・文化人類学(HL)、数学(HL) から1科目
	教育学類
生命環境学群	心理学類
	歴史(HL)、地理(HL)、哲学(HL)、数学(HL) から1科目
	障害科学類
生命環境学群	生物学類
	歴史(HL)、地理(HL)、哲学(HL)、数学(HL) から1科目
	生物資源学類
理工学群	地球学類
	数学(HL) 必修 生物必修と物理、化学から1科目(2科目のうち1科目はHLであること)
	生物学類
理工学群	生物資源学類
	数学(HL) 必修 経済(HL)、歴史(HL)、地理(HL)、物理(HL)、化学(HL)、生物(HL)から1科目
	地球学類
理工学群	地球学類
	数学(HL) 必修 物理(HL)、化学(HL)、生物(HL)から1科目
	物理学類
理工学群	化学類
	数学(HL) 必修 物理(HL)、化学(HL)、生物(HL)から1科目
	応用理工学類
情報学群	工学システム学類
	数学(HL) 必修 物理(HL) 必修
	社会学類
情報学群	社会学類
	数学(HL) 必修 物理(HL)、化学(HL)、生物(HL)から1科目
	情報科学類
医学群	情報メディア創成学類
	数学(HL) 必修 物理(HL)、化学(HL)、生物(HL)から1科目
	知識情報・図書館学類
医学群	医学類
	数学(HL) 必修 物理(HL)、化学(HL)、生物(HL)から2科目
	看護学類
医学群	医療科学類
	化学(HL)、生物(HL)から1科目
	数学(HL) 必修 物理(HL)、化学(HL)、生物(HL)から1科目
体育専門学群	指定の科目なし
芸術専門学群	指定の科目なし

入学への歩み



募集要項(願書)請求方法

[AC入試]

本学のアドミッションセンター窓口(平日9:00-17:00 TEL.029-853-7386)及び東京キャンパス文京校舎(1階102号室)進学相談コーナー(平日10:00～17:00 TEL.03-3942-6903)で資料を入手できます。(平日:土、日、休日、年末、年始、本学の定める夏季休業を除いた日)
なお、窓口にお越しにならない方は、次の方法で請求することができます。

(1) 本学のホームページから請求する方法

テレメールを利用して入学案内や募集要項等の資料を請求できます。

(2) 自動音声応答電話や携帯電話で請求する方法

1. 下記のどちらかの方法で テレメールにアクセスしてください。

●自動音声応答電話の場合 IP電話:050-8601-0101

※IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約11円です。

●携帯電話の場合 <http://telemail.jp> (携帯電話各社共通アドレス)

※携帯電話で右のコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。

2. 請求を希望する資料請求番号をプッシュまたは入力してください。

3. あとはガイダンスに従って登録してください。



[国際科学オリンピック特別入試・国際バカロレア特別入試]

本学のホームページからダウンロードしてください。

http://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad/list_guidebooks.html

TOPICS



体育専門学群の AC入試が変わります!

問題発見能力を重視する「従来型」に加えて、本年度より「運動競技重視型」を新設しました。

抜群の運動技能を有し、日本代表として権威ある国際大会で活躍できる競技力を重点的に評価します。また、基礎学力と表現力についても総合的に評価します。

ガイダンス・進学相談、過去の「AC入試リーフレット」についてはこちらで

<http://ac.tsukuba.ac.jp>

AC入試 Q&A

Q. AC入試の選考で重視されるのはどんなことですか

A. 志願者の問題発見・解決能力を、最も重視します。

提出された自己推薦資料の内容をもとに、志願者の主体的・継続的な活動の中で、どのような問題の発見と解決があったのかを評価します。その際、活動の実績そのものを重視するのではなく、志願者がどのような工夫によってその実績を上げたのか、また、その実績をどのように認識しているのかを重視します。すなわち、結果に至る過程や、活動の「質」が重要になります。また、志願者が大学で学びたいことが、志願する学類・専門学群で学習可能か、志願先の研究教育内容と志願者の目的とが合致しているか、ということも重視します。人物評価の入試ではありません。

Q. 問題発見・解決能力のある人とは、具体的にどういう人ですか

A. 主体的な興味や関心から、自分自身の問題意識を育て、その解決に向けて独自の視点から工夫や努力を続けている人です。

例えば、物理や化学の実験、歴史の研究、生物の観察などを続ける過程で、自分自身の問題意識をもち、さまざまな工夫しながらその問題に取り組んできた人です。また、生徒会活動、課外活動、ボランティア活動などの中で独自の問題意識を育て、解決に向けて工夫を続けてきた人です。このような人には「主体的に学ぶ力」という大切な学力が備わっていると考えられます。AC入試では、志願者がそうした活動をする中で、何をどう考え、どう行動したのかを評価します。過去の合格者の自己推薦内容はwebページでも公表しています。

<http://ac.iit.tsukuba.ac.jp/ac/about/report/>

Q. 出願するにはコンテストや競技会での入賞歴や何らかの資格取得、検定合格などが必要ですか

A. 必要ではありません。

AC入試は資格や実績そのものを評価する入試ではありません。資格や実績の有無にとらわれず、これまでの自分の活動（研究、課外活動、趣味など）における問題の発見と解決の過程を具体的に提示することが大切です。問題解決の過程で取得した資格や合格した検定、入賞歴などがあれば自己推薦の資料に加えることはできます。その資格や検定が自分の活動の中にどう位置づけられるのか、きちんと説明できることが大切です。ただし、体育専門学群では運動競技の実績を、他の資料とともに重視して評価します。競技の実績がまったくなければ合格はきわめて困難です。

Q. SSH※などの共同研究の成果を自己推薦に利用できますか

※スーパーサイエンスハイスクール

A. 利用してもかまいません。

ただし、その共同研究において志願者本人が担当した部分や、志願者本人の具体的な貢献を、自己推薦書の中で明確に示す必要があります。他のメンバーが担当した部分や、他のメンバーが成し遂げた問題解決とはっきりと区別して、志願者本人の問題発見・解決能力が読み取れるように提示してください。

Q. 国際科学オリンピックでの成績は評価の対象になりますか。

A. AC入試は実績そのものを評価する入試ではありません。

志願者の活動における問題発見・解決の過程を重視して評価します。一方、国際科学オリンピック特別入試は実績を重視して評価します。

Q. 高校の成績（評定平均値）は重視されますか
A. 主として、入学後、支障なく学習できるかどうかを確認するための参考として使われます。合格者には、結果的に成績がよい人が多くなっていますが、出願要件ではありません。

Q. なぜ、募集時期、選考時期が早いのですか

A. AC入試は、志願者の継続的な活動における問題発見と解決の過程を評価する試験であり、試験当日の偏差値的学力を評価するわけではありません。

したがって高校3年の早い時期でも適切な選抜が可能であると考えられます。「早く進路を決めて、入学までの時間でさらに自分の勉強を進めたい」という志願者を求めているのです。また、早めの実施することで、センター試験や個別学力検査への影響を最小限にできると考えています。決して早く学生を確保することが目的ではありません。このことは、合格者数が必ずしも募集人員を充たさないことから分かるものと考えています。

Q. 必ず募集人員どおりに合格者が決まりますか

A. いいえ。
ふさわしい志願者がいないと判断した場合は、合格者が募集人員より少なくなり、欠員分は個別学力検査等（前期日程）に振り替えられます。一方、AC入試で募集人員より多く合格することもあります。その場合でも、個別学力検査等（前期日程）の募集人員が減ることはありません。

Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか

A. 推薦入試や一般入試（前期・後期日程）と併願できます。国際科学オリンピック特別入試、国際バカロレア特別入試とは併願できません。

国際科学オリンピック特別入試 Q&A

Q. 出願できるのはどのような人ですか

A. 過去3年間に、国際科学オリンピックに日本代表として選抜された人や、国内予選で好成績を収めた人などです。詳しくは学生募集要項（6月下旬公表）でご確認ください。

Q. 選考で重視されるのはどんなことですか

A. 予選や本選での成績に加え、明確な目的意識や計画的に学ぶ意欲、入学後に必要となる学習適応性などです。調査書やエントリーシート、15分程度の面接などを含めて総合的に合否を判定します。大学入試センター試験は課しません。

Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか

A. 推薦入試や一般入試（前期・後期日程）と併願できます。AC入試や国際バカロレア特別入試とは併願できません。

国際バカロレア特別入試 Q&A

Q. 国際バカロレア最終試験のスコアは、何点以上で合格できますか

A. スコアだけで合否を判定しません。EE、TOK、CASの成果などに関する面接・口述試験と併せて総合的に判定します。

Q. TOEFL等、英語の4技能検定試験の結果も提出するのですか

A. 英語を履修していれば必要ありません。履修していない場合の扱いは教育組織ごとに異なりますので、募集要項でよく確認してください。

Q. 筑波大学の推薦入試等と併願することはできますか

A. 推薦入試や一般入試（前期・後期日程）と併願できます。AC入試や国際科学オリンピック特別入試とは併願できません。

受験生のための筑波大学説明会

カリキュラム説明や模擬授業、施設見学なども行います。この機会にぜひ、筑波大学を体験してください。申し込み方法など詳細はホームページで6月上旬頃にお知らせします。

<http://www.tsukuba.ac.jp>

アドミッションセンター

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
TEL.029-853-7385 FAX.029-853-7392
<http://ac.tsukuba.ac.jp>

詳細は筑波大学
ホームページへ

筑波大学

で

検索